

街並みに対する観光客の意識実態についての一考察

足利工業大学大学院 学生会員 ○堀口 恭兵
足利工業大学 正会員 中川 三朗

1. 目的

現在、日本の多くの地方都市では中心市街地の衰退化が大きな問題になってきている。その原因として、経済の不安定、少子高齢化、大都市へ過度の人口集中、街のアイデンティティ（個性・独自性）の稀薄化、産業の変化、モータリゼーション（自動車大衆化現象）の定着などが考えられる。最近では、多くの地方都市でまちに活気を取り戻そうと数多くの取り組みがなされている。その中でも、景観法や景観条例などが施行されたこともあり、良好な景観形成、街並み保全がされている。

本研究は、足利市を対象地域とし、観光客および足利市民にアンケートを行うことにより、足利のイメージや良い街並みとはどのようなものか、また観光をする際に街並みがどの程度の重みになっていてか意識実態を把握することを目的とする。

2. 足利市の概要

足利市は栃木県の南西部に位置する都市で人口は約16万人、面積は約178平方キロメートルで市の中心には渡良瀬川が流れている。また足利氏ゆかりの地で文化遺産も多く、自然と歴史のある地域である。産業は昭和初期に足利銘仙という織物で生産量日本一になった。

現在、中心市街地の問題として人口の減少や空き店舗の増加などがある。人口は昭和60年から平成7年にかけて1,384人減少している。この間、足利市全体の人口が1,828人減少しており、その76%を占めている。商業店舗の数は、昭和60年から平成9年にかけて86店舗減少している。この間、足利市全体の商業店舗が273店舗減少しており、その32%を占めている。足利市の街並み(図1)は関東の小京都とも呼ばれている。渡良瀬川の両側の山並みは、京都の賀茂川と東山三十六峰によく似ていて、現在は足利学校や鑊阿寺付近の道が石畳の道に整備されており、

情緒もあり雰囲気の良い街並みといわれている。



図1 足利市の石畳の道（鑊阿寺周辺）

3. アンケート調査について

足利市の代表的な観光スポットの『鑊阿寺』、『太平記館』において、街並みに対する意識及び足利市についての認知度に関するアンケート調査を行なった。調査項目は性別、年齢、交通手段、足利市の観光地を知った経緯、一般的に良い街並みと感じるもの、足利市で良い街並みと感じるもの、街並みの重視度について、足利市の魅力である。調査数は観光客209人、足利市民24人である。

4. アンケート結果（実態報告）

(1) 男女比率と年齢

男女の比率は、ほとんど変わりはなく男性52%、女性48%で夫婦などの男女二人連れが多かった。

高齢層の人が観光していると考えていたが、若い人も来ていることが分かった。

(2) 交通手段

交通手段で車が多いのは近年、モータリゼーションの定着が影響していると考えられる。また、アンケート実施場所（太平記館）が足利市の観光駐車場ということも原因と考えられる。徒歩、自転車が若干あるが、足利市民の方々だと考えられる。

(3) 足利市の観光地を知った経緯

約60%が『昔から知っている』と回答した。足利は歴史もあり、有名なので何らかの形で知ることが多いのだと考えられる。『知人から』という回答も多かった。口コミなどが考えられる。

(4) 観光地を決定する際の街並みの重要視度

図2より観光する際の街並み重要視度は、あまり重要視しない以下は4%であった。街並みの重要視度は最重要ではないが、観光地を決定する際には十分考慮して決定していることが分かった。

(5) 良い街並みとは

一般的な街並みの良さと足利市の街並みとの比較をした。その結果、図3より評価のパターンはあまり変わりなかったが、足利では『歴史的建物が残っている』の項目が最も差が大きく、足利の街並みは歴史に重点が置かれていることが分かった。

(6) 足利市の魅力と認知されているもの

回答の多い3項目は図4より歴史37%、渡良瀬川18%、街並み13%であった。足利の街並みの良さは魅力と認識されているが、足利は歴史、自然のまちであることが分かった。

(7) 自由意見の考察

自由意見はプラス意見が多く見られた。その内容としては、雰囲気が良い、歴史、文化がある、街並みや家並みや石畳が良い、自然が多いなどであった。

マイナス意見は交通の便の悪さ、活気がない、街並み整備は難しい、様々な意見・要望などがあった。

(8) まとめ及び課題

今回のアンケート調査により、分かった実態は次に挙げるものである。

- ・ 観光する際に街並みが重要視されていること。
- ・ 足利市の街並みは魅力として認識されているが、要素としては歴史や自然が強いこと。

今回の調査により足利の街並みは良いことが分かったが、一部の意見としてしかなく、十分でないため一概には言えない。『良い街並み』とは何か、『良

い街並みの街には人々が集まる』、『人々が集まる街は良い街並み』が定義できるように今後、他の街で人々が集まり、賑わっている地域も調査する必要があると考える。

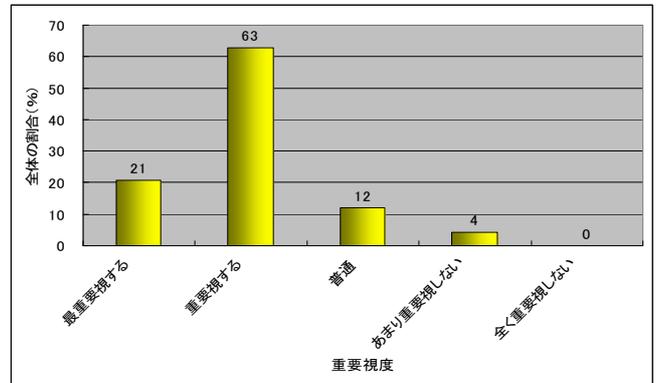


図2 観光地を決定する際の街並み重要視度

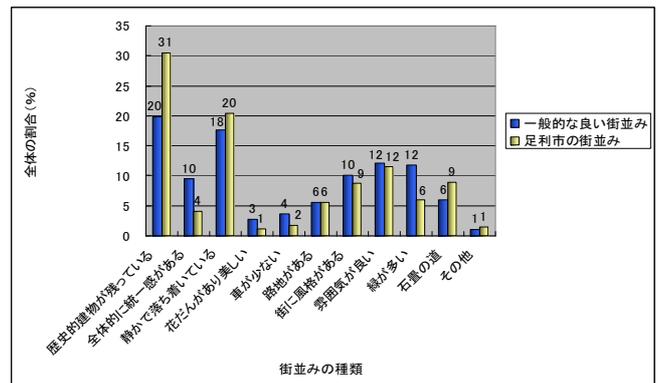


図3 一般的な街並みの良さと足利市の街並みとの比較

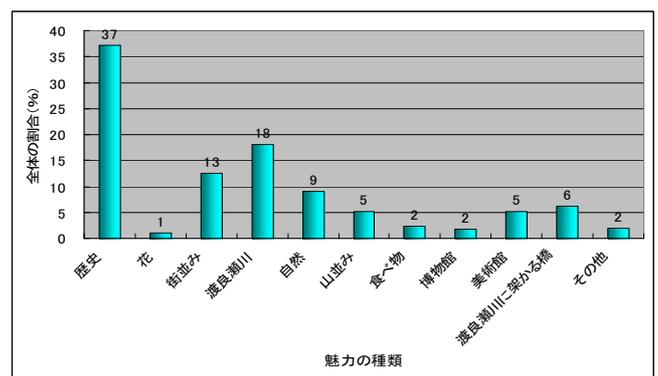


図4 足利市の魅力と考えられているもの

【参考文献】

景観用語事典・・・篠原 修編・景観デザイン研究会著
 栃木県都市景観形成ガイドプラン・・・平成5年3月 栃木県
 歴史から未来へニュー足利創造プラン（2001～05）・・・足利市
 HP：足利市・栃木県・国土交通省ホームページ